

# 社会学

1 学年 前学期	チーフオーガナイザー：1 年次学年教育主任
----------	-----------------------

一般目標 (GIO)	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。よって、共同生活を営む者(仲間)が必要不可欠となる。また、社会生活は(必ずしも)自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を理論的・実践的に理解し、その知識・技術を医療社会において対応できる能力を身に付けるよう努めたい。特に今年度は「問題行動」に主眼を置き、「無意識のうちに問題行動に至る可能性」を考察していく予定である。
授業担当者	服部 慶巨
教科書	「補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学」 服部慶巨 人間の科学社
参考図書	「人間生活の理論と構造」 夏刈康男(ほか) 学文社
実習器材	なし ただし、自宅か大学でインターネットにアクセスできる環境があると効果的(パソコンや携帯電話などでよい)
評価方法 (EV)	最終試験と平常点(出席状況、受講態度など)により、総合的な評価をする。
学生への メッセージ オフィスアワー	講義で語られた事象を「実践」しようとする、志の高い学生の参加を希望する。また、この科目は「単位」のために受講するというよりも、「自分(の評価)をもっと高めたい」という向上欲を満たすための受講という考えで臨んで欲しい。 なお、学生との連絡にはEメール(yoshibei@mascat.nihon-u.ac.jp)およびホームページ(http://nihon-u.bewith.ac)を使用する(担当者の出講日は、前学期の木曜1時限目のみ)。

日程	授業項目	授業内容・到達目標・学習方略(SBOs)(LS)	授業担当者
4月14日(木) 2時間	社会(学)とは何か?	「社会学」という学問の基本的思考方法、研究対象、講義の方針、展開方法、目標などを確認し、併せてガイダンスを行う。	服部 慶巨
4月21日(木) 2時間	社会的動物としての人間	人間は他の動物とは“かなり”異なる存在であり、そして社会なしには決して生きられない存在である。そのような人間と社会の関わり的重要性について述べる(前半)	同上
4月28日(木) 2時間	社会的動物としての人間	人間は他の動物とは“かなり”異なる存在であり、そして社会なしには決して生きられない存在である。そのような人間と社会の関わり的重要性について述べる(後半)	同上
5月12日(木) 2時間	問題行動の根源	「問題行動」とは何か? 社会生活において、なぜ解消されないのか? その根本的な部分を考察する。	同上
5月19日(木) 2時間	問題行動の根源	単なる動作が「問題行動」へと発展する道のりを考察する。(前半)	同上
5月26日(木) 2時間	問題行動の根源	単なる動作が「問題行動」へと発展する道のりを考察する。(後半)	同上
6月2日(木) 2時間	問題行動の根源	現代の日常生活には、「ストレス」「癒し」「カウンセリング」などの言葉が氾濫している。そもそも「ストレス」とはいったい何なのか? そして、どのような社会状況がストレスに結びつくのか、人間関係に重きを置いて解説していく。	同上
6月9日(木) 2時間	問題行動の根源	近年、すぐに「キレル」「ムカつく」子供が多発している。そもそもストレスの原因は誰が作り上げているのか? なぜ、ストレスから逃れられないのか? 受講学生と考えていきたい。	同上
6月16日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	「人間」とはどのような存在を言うのか? どうすれば人間として認められるのか? そういった基本的事項について考える。	同上
6月23日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	人間は、生命力のほかにも「演技力」がなければ「人間」として生きていくことは出来ない。では、どうやって演技すれば良いのか? その法則性を分析する。(前半)	同上
6月30日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	人間は、生命力のほかにも「演技力」がなければ「人間」として生きていくことは出来ない。では、どうやって演技すれば良いのか? その法則性を分析する。(後半)	同上
7月7日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	よく「医者はエライ」などと言われるが、この世に病気というものがないとしても「医師」という職業は成り立つのだろうか? ここでは、医療スタッフと患者との関わりを分析する。(前半)	同上
7月14日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	よく「医者はエライ」などと言われるが、この世に病気というものがないとしても「医師」という職業は成り立つのだろうか? ここでは、医療スタッフと患者との関わりを分析する。(後半)	同上
9月8日(木) 2時間	まとめ	これまでの講義で「社会学」の世界を十分に語ったとは言えないが、ここまで述べてきたことを振り返り、その中にある共通項を見つけ出し、終講としたい。	同上